

第 29 回

パチンコ景気動向指数 (DI)

調査結果

■ DI (Diffusion Index) とは？

パチンコ業界における景気動向を把握するため、平成 12 年 6 月より四半期 (3、6、9、12 月) ごと実施している調査。

■ 今回の調査について

1. 調査対象： A c l u b 会員 (エンタテインメントビジネス総合研究所の会員制情報提供サービス会員) ほか、全国の有力パチンコ店経営企業
2. 実施時期： 2007 年 6 月 14 日～2007 年 6 月 26 日
3. 調査方法： F A X にて送付・回答
4. 回収状況： 発送 680 社、有効回収数 45 社、回答率 6.6%

2007 年 7 月

調査結果のポイント

■ 全般的概況はマイナス 8.9 とやや後退、先行きには尚不安

現況(平成 19 年 6 月)の各社の業況判断DI値は、マイナス 8.9 と前回調査時のマイナス 6.2 から、2.7 ポイントの悪化となった。

見通し(3ヶ月後)については、マイナス 26.8 と先行きへの不安を尚残している。

<小規模事業者で現況改善、見通しは各規模で悪化>

大規模事業者でDI値 7.4 と前回から 5.1 ポイントの悪化。中規模事業者でDI値マイナス 31.3 と前回から 23.0 ポイントの悪化。小規模事業者はDI値マイナス 15.4 と前回から 14.0 ポイントの改善となっている。

見通し(3ヶ月後)では、大規模事業者(マイナス 14.8)、中規模事業者(マイナス 30.8)、小規模事業者(マイナス 43.8)と、各規模事業者ともに現況より悪い数値となっている。

■ パチンコ現況は悪化、各規模事業者ともに下げる

パチンコの稼動状況のDI値は、前回の 15.4 から 8.9 と 6.5 ポイントの悪化となった。見通し(3ヶ月後)では、±0.0 となっており、先行きへの不透明感を残している。

前3月期と比べると、小規模事業者は 9.5 ポイントの減少、中規模事業者は 12.5 ポイントの減少、大規模事業者は 7.4 ポイントの減少と各規模ともに下げている。

先行き見通しについては、大中規模事業者は悪化、小規模事業者は改善となっている。

■ パチスロ現況はやや回復も、5号機時代の見通しには厳しさ

パチスロの稼動状況のDI値は、前回のマイナス 23.4 からマイナス 14.3 と 9.1 ポイント上げたもののマイナス2桁圏での推移となっている。見通し(3ヶ月後)は、マイナス 44.6 と、5号機時代を迎えるにあたって、厳しいものとなっている。

前3月期と比べると、小規模事業者は 9.6 ポイントの改善、中規模事業者は 4.2 ポイントの悪化、大規模事業者は 12.5 ポイントの悪化となっている。

先行き見通しについては、各規模事業者ともに悪化を予測。中規模事業者ではマイナス 62.5、小規模事業者ではマイナス 53.8 と厳しい見通しとなっている。

■ 採用実績高い『景品』、今後の採用検討多い『低貸玉』

店舗差別化のため採用している営業施策は、「外部提携による景品の充実」(22.2%)、「低貸玉での営業」(15.6%)の順となっている。

今後採用を検討している施策としては、「低貸玉」が 35.6%と多くの企業で検討されている。現在採用企業と合わせると 51.1%と5割を超える。

景況キーワード

■ 業界を取り巻く環境は、かつてないほどの厳しさ

『連発式禁止(昭和 30 年)以来の非常事態になると感じる。』や、『この数ヶ月、大きな動き(廃業等)もあり、厳しい業界状況で、この波を乗り越えるべく努力していく。』などの意見にあるように、業界を取り巻く環境がかつてない厳しさであることがうかがえる。

■ 結果的にホールが選別される状況に

『今後は、高価格で高性能の遊技機がヒット機になると思う。このような台を思い切って買えるかどうかで、ホールの営業も変わってくるので益々小さい業者は経営が苦しくなっていくと思う。』や、『メーカーの販売単価の上昇、抱き合わせ、戦略的売り惜しみ、供給調整がホールをふるいにかける。』など、店舗間の差がより拡大するような遊技機の販売方法に危機意識が高まっている。

<主要指標 パチンコ業界全体>

項目	D.I. 値			業界天気		コメント
	前回現状	現状	見通し	現状	見通し	
1. 全般的業況	-6.2	-8.9	-26.8			全般的業況は引き続いて曇り。見通しは雷雨に転落。
2. 稼働状況 (パチンコ)	15.4	8.9	0.0			現況は薄曇りから曇りに悪化。先行き見通しは曇りを維持。
3. 稼働状況 (パチスロ)	-23.4	-14.3	-44.6			現況は雨を維持。先行き見通しは雷雨で、数値大幅悪化。
4. 資本投入気運の変化 (台)	7.5	46.2	12.8			現況は曇りから晴れに。見通しは薄曇りに。
5. 資本投入気運の変化 (設備)	-7.5	10.5	0.0			現況は曇りから晴れに見通しは曇りに。
6. 営業用設備の不足感	-3.1	5.4	5.4			設備不足感横ばい。見通しも小康状態を保つ。
7. 雇用人員の不足感	35.4	26.8	33.9			人材不足感はやや和らぐ。見通しはやや数値悪化。

注：前回現状は 2007 年 3 月調査時の結果

天気記号使用基準

記号	数値	記号	数値
晴れ	30.0~	雨	-29.9~-10.0
薄曇り	10.0~29.9	雷雨	~-30.0
曇り	-9.9~9.9		

全般的概要－業況

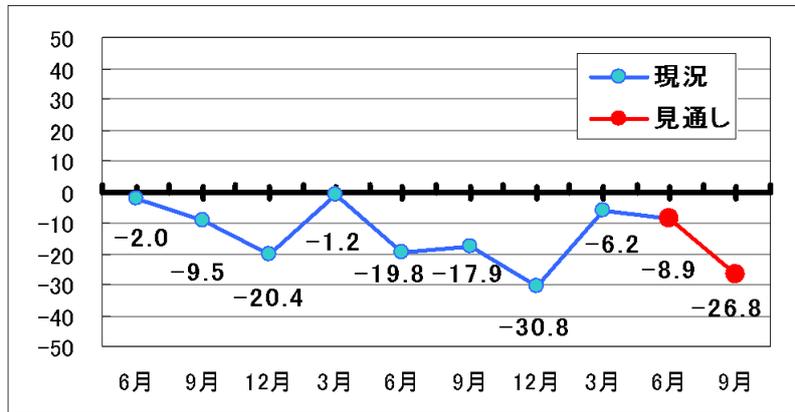
■ 業況判断DI値はマイナス 8.9 とやや後退、先行きには尚不安

現況(平成 19 年6月の業況判断)は「良い」が 4.9 ポイント減少して 8.9%となり、「悪い」が 2.1 ポイント減少して 17.9%となり、DI指数はマイナス 8.9 と前回のマイナス 6.2 から、2.7 ポイントの悪化となった。

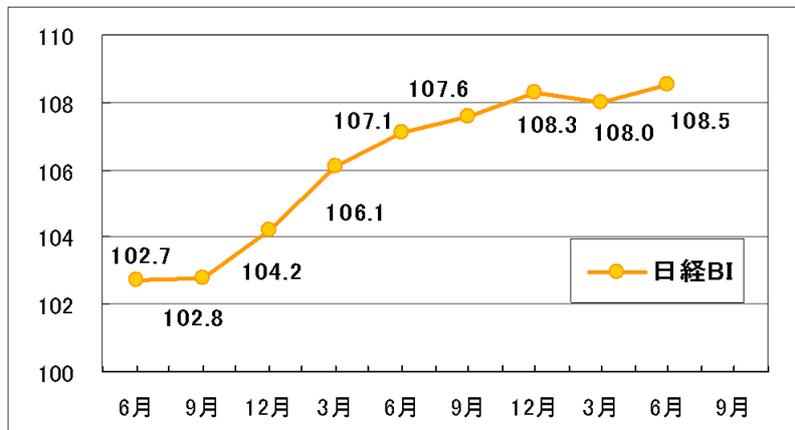
見通し(3ヶ月後)については、マイナス 26.8 と先行きへの不安を尚残している。

代表的な民間の景気動向指数である「日経BI」4月速報値は 108.5(2000 年平均=100)と前月を 1.0 ポイント上回った。前月比で上昇するのは 2006 年 11 月以来5ヶ月ぶり。4月は日経BIを構成する指標のうち、生産を除く鉱工業生産、有効求人倍率と所定外労働時間の3つが改善した。サラリーマンの所得変動に影響する所定外労働時間は、前月比 1.2%増加し、1年ぶりの高い伸び率となった。

<現況の推移と見通し>



<日経景気インデックスデータ (日系BI)>



※インデックスデータは、1-3月の平均を3月に示した。直近の6月は4月速報値。

日経景気インデックス (日経BI)

景気動向を反映する生産、需要、所得、労働の4つの側面を代表する指標（鉱工業生産、商業販売額、所定外労働時間、有効求人倍率）から共通する「景気の波」を抽出したもの。「景気」そのものの変化方向と水準を表す。構成要素の4指標はすべて翌月末までに公表されるため速報性に優れている。
BIはビジネス・インデックス (Business Index) の略。(2000年平均=100)

全般的概況－判断理由と経営上の課題

■ 業況が悪い理由は『来店客の減少』がトップ

業況判断を「悪い」(17.9%)と下した理由は、『来店客数の減少』、『顧客単価の減少』などとなっている。

「来店客数の減少」は、前回3月期の71.4%より1.3ポイント上昇している。

■ 小規模事業者で『人材不足・人材教育』『資金調達』が上昇

経営上の問題点の上位項目で、全体で前回より回答率が上昇したのは『不明瞭な行政指導』(28.9%:8.5ポイント上昇)、『公的な規制』(20.0%:5.2ポイント上昇)、などとなっている。

事業者の規模別にみると、小規模事業者では、『人材不足・人材教育』(50.0%)で26.5ポイント、『資金調達』(50.0%)で14.7ポイント上昇している。

大規模事業者では、『不明瞭な行政指導』(45.5%)で22.4ポイントの上昇となっている。

<経営上の課題>

項目	全体 (12月)	全体 (3月)	全体 (6月)	小規模 事業者	中規模 事業者	大規模 事業者
他の同業他社との競争激化	69.0%	59.3%	62.2%	57.1%	60.0%	72.7%
人材教育・育成	58.6%	53.7%	53.3%	42.9%	70.0%	36.4%
設備・運営費の増加	44.8%	40.7%	37.8%	21.4%	40.0%	54.5%
人材不足・人材確保	36.2%	33.3%	35.6%	50.0%	35.0%	18.2%
不明瞭な行政指導	19.0%	20.4%	28.9%	21.4%	25.0%	45.5%
資金調達	17.2%	22.2%	26.7%	50.0%	10.0%	27.3%
公的な規制	24.1%	14.8%	20.0%	21.4%	20.0%	18.2%
人件費の増加	10.3%	22.2%	13.3%	14.3%	20.0%	0.0%
時間帯・曜日などの客の偏り	1.7%	14.8%	6.7%	7.1%	10.0%	0.0%
料金改定が困難	0.0%	0.0%	4.4%	0.0%	10.0%	0.0%
組合の自主規制	1.7%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

全般的概要－稼働状況

■ パチンコ現況は悪化、各規模事業者ともに下げ

現況の稼働状況は 8.9 と、前回の 15.4 から 6.5 ポイントの悪化となった。例年3月期は上昇するが、その後は下降線を辿っている。

見通し(3カ月後)は±0.0 となっており、先行きへの不透明感を残している。

現況の稼働状況を規模別にみると、小規模事業者(1～3店保有)がマイナス 15.4、中規模事業者(4～10 店舗)が±0.0、大規模事業者(11 店舗以上保有)が 25.9 となっている。

前3月期と比べると、小規模事業者は 9.5 ポイントの減少、中規模事業者は 12.5 ポイントの減少、大規模事業者は 7.4 ポイントの減少と各規模ともに下げている。

先行き見通しについては、大中規模事業者は悪化、小規模事業者は改善となっている。

■ パチスロ現況はやや回復も、5号機時代への見通しには厳しさ

現況の稼働状況は、マイナス 14.3 と、前回のマイナス 23.4 からは 9.1 ポイントの改善となっているものの、マイナス2桁圏での推移となっている。

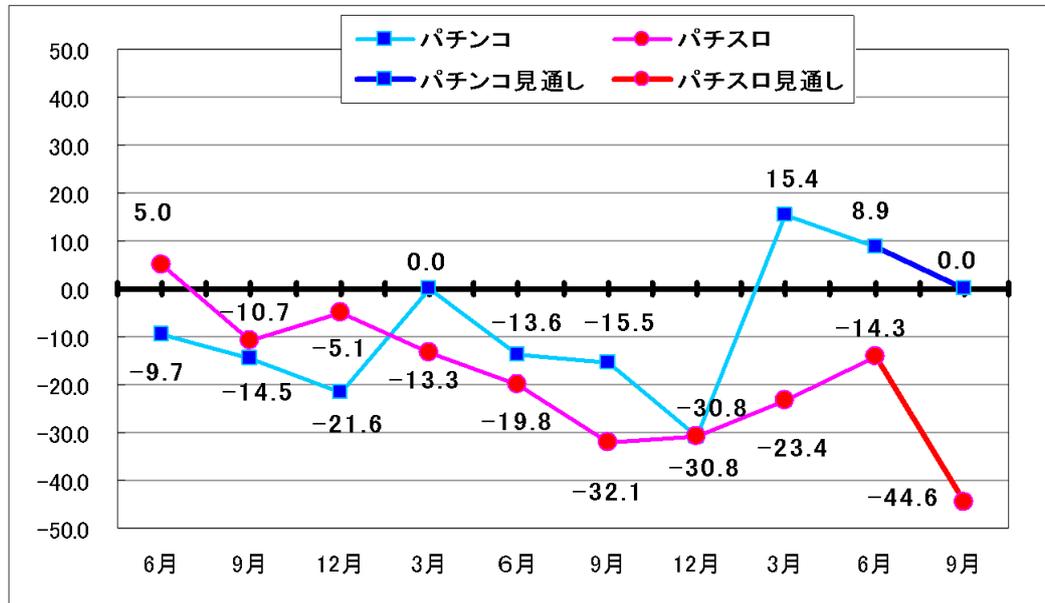
見通し(3ヶ月後)は、マイナス 44.6 と、5号機時代を迎えるにあたって、厳しいものとなっている。

現況の稼働状況を規模別にみると、小規模事業者(1～3店保有)がマイナス 15.4、中規模事業者(4～10 店舗)がマイナス 37.5、大規模事業者(11 店舗以上保有)が±0.0 となっている。

前3月期と比べると、小規模事業者は 9.6 ポイントの改善、中規模事業者は 4.2 ポイントの悪化、大規模事業者は 12.5 ポイントの悪化となっている。

先行き見通しについては、各規模事業者ともに悪化を予測。中規模事業者ではマイナス 62.5、小規模事業者ではマイナス 53.8 と厳しい見通しとなっている。

<稼働状況の推移と見通し(パチンコとパチスロ)>



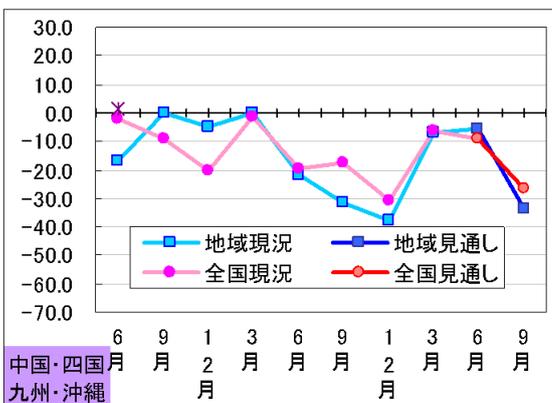
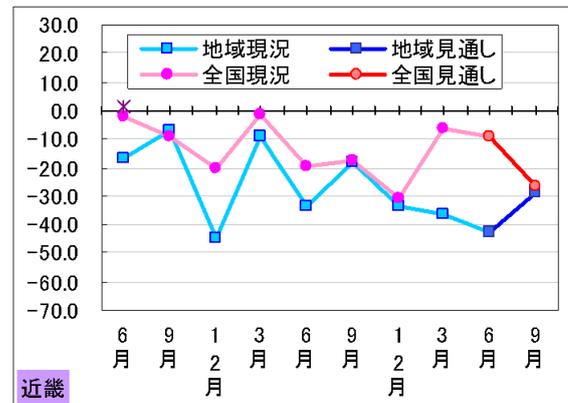
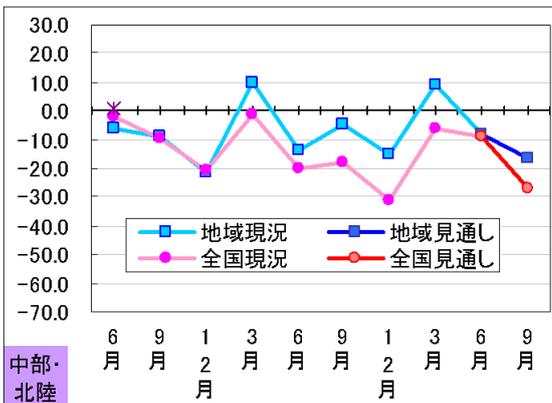
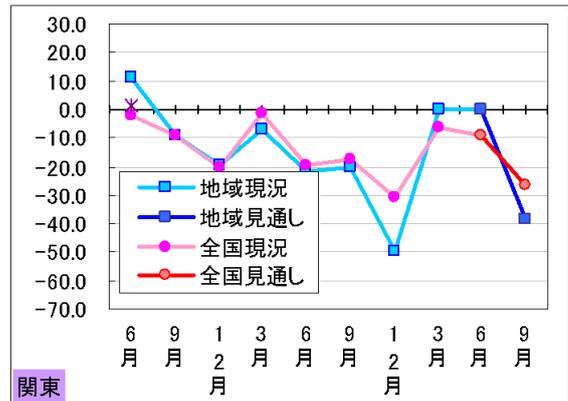
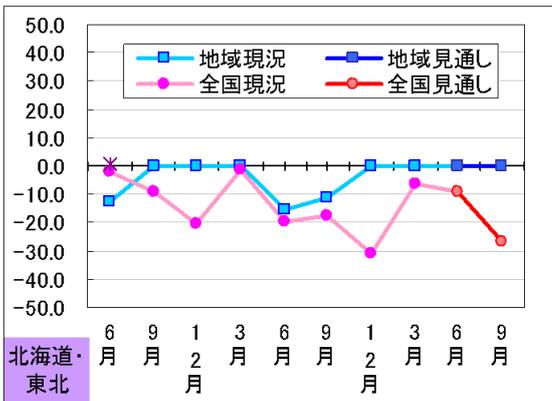
地域別の業況

■ 前回に引き続いて現況悪い近畿、見通しは大半の地域で悪化

現況のDI値は、「近畿」のみ前回よりも数値を悪化させマイナス 42.9 と最も悪い。最も数値がよいのは、「北海道・東北」と「関東」の±0.0。

見通し(3ヶ月後)については、±0.0の「北海道・東北」を除いて数値を下げ、全てマイナス2桁台の数値となっている。

<地域別 業況>



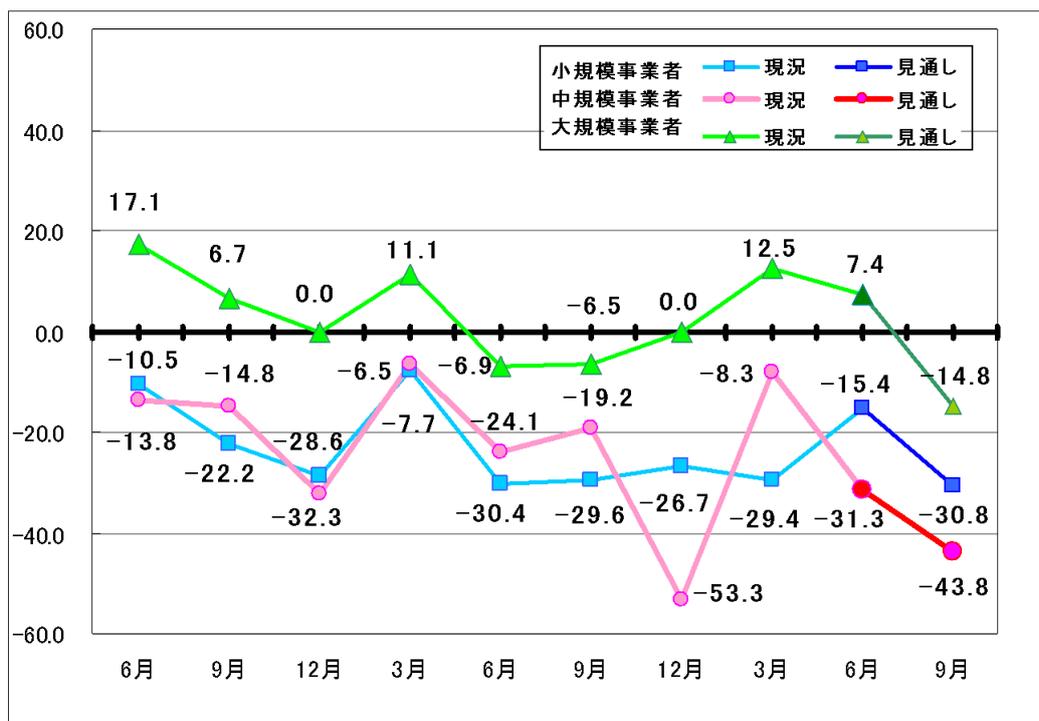
規模別業況

■ 小規模事業者で現況改善、見通しは各規模で悪化

現況の業況判断を規模別にみると、大規模事業者でDI値 7.4 と前回から 5.1 ポイントの悪化。中規模事業者でDI値マイナス 31.3 と前回から 23.0 ポイントの悪化。小規模事業者はDI値マイナス 15.4 と前回から 14.0 ポイントの改善となっている。

見通し(3ヶ月後)では、大規模事業者(マイナス 14.8)、中規模事業者(マイナス 30.8)、小規模事業者(マイナス 43.8)と、各規模事業者ともに現況より悪い数値となっている。

<規模別：業況の推移と見通し>



注：小規模事業者＝1～3店舗 中規模事業者＝4～10店舗 大規模事業者＝11店舗以上

差別化営業施策の実施について

■ 採用実績高い『景品』、今後の採用検討多い『低貸玉』

店舗差別化のため採用している営業施策は、「外部提携による景品の充実」(22.2%)、「低貸玉での営業」(15.6%)の順となっている。

今後採用を検討している施策としては、「低貸玉」が35.6%と多くの企業で検討されている。現在採用企業と合わせると51.1%と5割を超える。

他では、「複数の交換率採用」(24.4%)、「外部提携による景品充実」(22.2%)などが高くなっている。

これらの営業施策を実施する際の顧客ターゲットや理由は、主に新規顧客の呼び込みがメインとなっている。「複数の交換率採用」と「現金に交換できる景品なし」については、既存客の離反防止があげられている。

<現在採用している施策>

項目	全体	小規模事業者	中規模事業者	大規模事業者
禁煙コーナーの設置	8.9%	0.0%	5.0%	27.3%
低貸玉での営業	15.6%	7.1%	5.0%	45.5%
外部提携による景品充実	22.2%	7.1%	35.0%	18.2%
複数の交換率採用	8.9%	21.4%	0.0%	9.1%
現金に交換できる景品なし	2.2%	0.0%	5.0%	0.0%
特定機種(機種タイプ)専門店	8.9%	7.1%	5.0%	18.2%

注：小規模事業者＝1～3店舗 中規模事業者＝4～10店舗 大規模事業者＝11店舗以上

<今後の採用検討施策>

項目	全体	小規模事業者	中規模事業者	大規模事業者
禁煙コーナーの設置	15.6%	28.6%	15.0%	0.0%
低貸玉での営業	35.6%	7.1%	60.0%	27.3%
外部提携による景品充実	22.2%	14.3%	30.0%	18.2%
複数の交換率採用	24.4%	14.3%	20.0%	45.5%
現金に交換できる景品なし	4.4%	0.0%	0.0%	18.2%
特定機種(機種タイプ)専門店	8.9%	14.3%	0.0%	18.2%

注：小規模事業者＝1～3店舗 中規模事業者＝4～10店舗 大規模事業者＝11店舗以上

調査結果概要 DATA

■規模（店舗数）別

項目	DI 値区分	小規模事業者			中規模事業者			大規模事業者		
		前回	現状	見通し	前回	現状	見通し	前回	現状	見通し
1. 全般的業況		-29.4	-15.4	-30.8	-8.3	-31.3	-43.8	12.5	7.4	-14.8
2. 稼働状況（パチンコ）		-5.9	-15.4	7.7	12.5	0.0	-37.5	33.3	25.9	18.5
3. 稼働状況（パチスロ）		-25.0	-15.4	-53.8	-33.3	-37.5	-62.5	-12.5	0.0	-29.6
4. 資本投入気運の変化（台）		6.3	57.1	21.4	0.0	33.3	11.1	23.1	57.1	57.1
5. 資本投入機運の変化（設備）		-25.0	0.0	-7.7	-8.3	16.7	5.6	15.4	14.3	0.0
6. 営業用設備の不足感		5.9	38.5	30.8	-8.3	6.3	0.0	-4.2	-11.1	-3.7
7. 雇用人員の不足感		41.2	30.8	46.2	58.3	37.5	31.3	8.3	18.5	29.6

注：小規模事業者＝1～3店舗 中規模事業者＝4～10店舗 大規模事業者＝11店舗以上

■地域別

項目	DI 値区分	北海道・東北			関東			中部・北陸		
		前回	現状	見通し	前回	現状	見通し	前回	現状	見通し
1. 全般的業況		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-38.5	9.1	-8.3	-16.7
2. 稼働状況（パチンコ）		25.0	33.3	0.0	17.6	15.4	7.7	9.1	-8.3	-16.7
3. 稼働状況（パチスロ）		-16.7	33.3	0.0	-17.6	-7.7	-61.5	-18.2	-41.7	-58.3
4. 営業用設備の不足感		-8.3	-16.7	0.0	5.9	7.7	7.7	-18.2	8.3	0.0
5. 雇用人員の不足感		-8.3	-33.3	-33.3	41.2	46.2	46.2	72.7	33.3	50.0
項目	DI 値区分	近畿			中国・四国・九州・沖縄			営業用設備の不足感、雇用人員の不足感が強いほどに設備投入機運の採用、活用に結びつくものであり、業況は改善に向かうものと判断される		
		前回	現状	見通し	前回	現状	見通し			
1. 全般的業況		-36.4	-42.9	-28.6	-7.1	-5.6	-33.3			
2. 稼働状況（パチンコ）		-9.1	0.0	0.0	28.6	11.1	5.6			
3. 稼働状況（パチスロ）		-54.5	-14.3	-28.6	-15.4	-16.7	-44.4			
4. 営業用設備の不足感		0.0	0.0	-14.3	0.0	11.1	-16.7			
5. 雇用人員の不足感		54.5	28.6	42.9	21.4	27.8	-33.3			

■資金繰り等の現況推移

項目	対象時期	パチンコ業界全体			小規模事業者			中規模事業者			大規模事業者		
		12月調査	3月調査	6月調査	12月調査	3月調査	6月調査	12月調査	3月調査	6月調査	12月調査	3月調査	6月調査
資金繰り		-8.8	-9.3	-15.8	-40.0	-17.6	-28.6	9.1	-25.0	-16.7	25.0	30.8	16.7
貸出態度		2.9	-25.0	-35.9	-20.0	-56.3	-35.7	16.7	-21.7	-33.3	25.0	7.7	-42.9
借入金利		-29.7	-26.9	-23.1	-33.3	-31.3	-14.3	-35.7	-17.4	-33.3	-12.5	-38.5	-14.3

注：小規模事業者＝1～3店舗 中規模事業者＝4～10店舗 大規模事業者＝11店舗以上